



4月、入学式のシーズン。町内の各小学校で入学式が挙行されました。ピカピカのランドセルを背負った新1年生がお父さんお母さんに手を引かれながら、緊張ぎみに登校しました。

式では、一人ひとり名前を読み上げられると、みんな元気良く返事し、お兄さ

んお姉さん方の歓迎の言葉を真剣に聞いていました。入学式で初めて聴いた校歌も、みんなすぐ覚えて大きな声で歌えるようになりますね。入学おめでとうございませす!!

編集後記

▼4月に入って、寒い日もありませんでしたが、ようやく春らしくなってきましたね。春の風物詩といえはやっぱり入学式。だけど、今月の編集後記はちょっとズレますが、卒園式の話です。▼先日、取材で北檜山幼稚園の卒園式に行ってきました。幼稚園で「園歌」があるんだあ〜と、新鮮な発見がありました。式の中で子どもたちと先生方が一緒に「とうだいとおふね」という歌を唄いました。私の長い(笑)人生の中で初めて聴く曲でした。皆さんはご存知でしたか?この歌がとっても良いんですよ。先生方が「とうだい」「卒園児は「おふね」です。嵐のなか「おふね」は力をあわせて手をつなぎ、沈まないように頑張ります。嵐が消えて、いよいよ「おふね」は出発です。そして「とうだい」である先生方が唄うんですよ。「波が荒れたら、とうだいを遠くの海で呼びなさい。いつでも港の灯台は、光ってお舟を見えますよ」。もうもう感動しました!!良い歌だと思いませんか?私にも子どもがおりますが、節目節目で、保育所・幼稚園の先生方、小学校、中学校の先生方がこんな気持ちで子どもを産を送り出してくれたんだな(思)って、今さらながらに感謝です。ありがとうございます。(丹羽)

